

# 八万南小学校 「学力向上実行プラン」

(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 漢字や計算など基礎的・基本的な知識・技能について、習得率8割以上と思われる児童が7割以上いる。	①当該学年の漢字・計算を概ね習得している。 ②2年生以上、九九100%習得	①学期末県版漢字テスト平均80点、県版算数テスト計算分野習得率8割 ②九九100%達成率9割			
課 題 基礎的・基本的な知識・技能の習得について、各学年、学級の中で格差が大きい。	①モジュール学習等による授業実践(内容は各学年による) ②漢字の読み書き・算数のミニテストや計算カード・音読カードを継続的に実施。	①モジュール学習週3回の実施 ②一週間に1回以上、漢字・計算等確認ミニテストの実施。		評価	次年度における改善事項

## 研究テーマ

「主体的・対話的で深い学び」を実現するための指導方法の工夫  
-各教科における主体的・対話的な学びを実現するための45分の組立て-

## 学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員  
青山 典代 【校長】①伊藤浩二【教頭】②伊達智登世 ③柳生敦【教務】④澤口智子  
【研修】⑤秋田泰宏【各学年等】⑥林真里⑦岡本直美 ⑧木全美恵  
⑨福田直子⑩東條輝江 ⑪藤井由紀

校長

伊藤 浩二



(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 各学年発達段階において、自分の考えを相手に分かりやすく伝える手段(話す・書く)を身につけてきている。	目的に応じて、根拠や理由を明らかにしながら、自分の考えを豊かに表現することができる。	「自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは得意」と答える児童の割合が8割以上。			
課 題 自分の考えを筋道を立てて話したり書いたりすることに課題がある。	①話す・書く学習活動を毎授業時間に意図的に設定し、子どもの課題に応じ、指導方法を工夫する。 ②学級の課題に応じた研究授業を実施する。	①自分の考えを筋道を立てて話す、書く活動を一日一回以上設定。 ②研究授業を一人一回以上実施。		評価	次年度における改善事項

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 興味・関心のある授業に対して、意欲的に取り組むことができる児童が多数いる。	①「チャイム着席」「学習の準備」ができていいる等、各学年で決めた学習規律重点チェック項目が習慣づいている。 ②どの教科も一生懸命取り組む子供。	学習規律重点チェック項目を習慣化できている児童が教師の評価で8割以上。			
課 題 ①学習規律の習慣化 ②友達の意見を聞くこと	①各学年で決めた学習規律重点チェック項目の決定と実施 ②毎授業時「めあて」と「まとめ」の提示。	①学習規律重点チェック項目を決め、実施。学級に応じた方法でフィードバックする。 ②子供の主体的な学びのための「めあて」と「まなび」を考案する。		評価	次年度における改善事項

## 平成31年度 学力向上ロードマップ

